

## 南城市歴史文化発信拠点基本計画（素案）に関するパブリックコメント意見結果

### 1. パブリックコメントの実施状況

- (1) 素案の公告日：令和6年2月16日
- (2) 意見の募集期間：令和6年2月16日～令和6年2月27日
- (3) 素案の公表・閲覧方法
  - ①南城市公式HP
  - ②南城市役所2階 南城市教育委員会 文化課窓口
- (4) 住民周知の方法
  - ①市公式ホームページ掲載
  - ②市公式LINEへ掲載
- (5) 意見の応募者数及び件数 6名（6件）
- (6) 意見の提出方法

提出方法	書面持参	郵便	Eメール	Google フォーム
人数	1人	0人	1人	4人

### 2. 提出された意見の要旨とそれに対する市の考え 方ページより掲載

No.	提出意見	意見理由	回答
1	<p>企画はとてもすばらしいと思います。各地区に点在する文化遺産を一堂に集めること。民俗芸能など定期的な開き、児童生徒たちに継ぐ。また、市花や市木などを周辺に植え親しめてほしい。各地区で音楽コンサートも好評ですし、芸能公演も鑑賞者からいくらか徴収すれば長期的に続けられると思う。</p> <p>施設には太陽光など自然エネルギーを備えてもらえば、市が自然にも配慮していることがわかる。</p> <p>地域住民（市民）と来訪者の体験学習の場も最大限活かして下さい。</p>	—	<p>発信拠点では来訪者の体験型活動を実施していくことを検討しています。民俗芸能の発表や体験学習など、いただいたご意見は活動内容の検討において参考とさせていただきます。</p> <p>建築設計の具体的な検討は次年度以降を予定しております。植栽や自然エネルギーの活用など、いただいたご意見は設計段階において参考とさせていただきます。</p>
2	<p>とても面白い企画だと思います！拠点以外にも各字の芸能をつなげたハトバス観光のようなものがあると良いと考えます。</p>	<p>当間区は、伝統芸能に活発で、獅子舞をはじめとして、棒術 エイサー アミシーなどたくさんの活動をしています。その中で、地域内だけではなく、たくさんの方に見てもらい、活発なコミュニティー育成をしていきたいと考えています。</p> <p>市の構想が進むのであれば当間区伝統芸能保存会も可能な限り協力します。</p>	<p>発信拠点では地域と連携して、各地域の歴史・文化に関する展示や情報ライブラリーでの情報発信、民俗芸能に関連した体験ワークショップなどの活動を実施していくことを検討しています。地域の歴史・文化への理解を深めるための活動を充実させてくことも、発信拠点の事業として検討いたします。</p> <p>発信拠点の整備に向けて事業を進めていくなかで、各地域との連携に向けた協議の場を設けていくことも検討いたします。</p>
3	<p>南城市の歴史文化についてですが、斎場御嶽を觀に来ている観光客は、一度来たら二度目は来ないでしょう。スピリチュアル好きであれば来るかもしれませんが、それよりも尚巴志マラソンがあるならば首里城祭がある様に南城市も尚巴志祭をしてはどうですか？先日、第 23 代</p>	<p>南城市に魅力的な文化、観光が、無いならば作るしかないです。</p>	<p>南城市歴史文化発信拠点及び南城市へ継続的に来訪者が訪れるように、企画展示や活動を充実させる方向で、さらなる検討を進めます。</p>

	<p>当主と第24代当主 尚さんにお会いしました。子孫もいらっしゃいます。</p>		
4	<p>国指定史跡のグスクや有形の文化財、また、集落に残る伝統芸能などの文化財も多くありますが、情報発信は十分なものとはいえませんので発信拠点の整備については賛同しております。しかしながら、駐車場については心配する点があります。</p>	<p>建設予定エリアの近隣で勤務しておりますが、アフターコロナでレンタカーをはじめとする車両が急激に増加傾向にあります。 特に土日は知念岬利用や体育館利用客の地元客の車両等で駐車場がパンク状態にあります。そういった状況の中、発信拠点施設や齋場御嶽の来訪を予定される皆様がスムーズに利用できるような、来訪試算数に応じた駐車場の整備も必要ではないかと考えております。</p>	<p>駐車場の不足については、発信拠点整備に係る課題として認識しております。そのため発信拠点の敷地内に駐車場を整備する方向で検討していきます。そのほか、駐車場不足の課題解決に向けた案を関係部署等と協議・検討していきます。</p>
5	<p>近い将来、南城市歴史文化発信拠点施設ができることは大変良いことだと思います。 しかしながら現状のお客様受入れ状況からすると、常に駐車場が足りない状況を招くことになる。周辺私有地などの土地買上げや借地の交渉も並行しながら、駐車場エリアの拡大も今後は必要不可欠な重要課題です。予定するエリアには観光拠点施設も隣接し、各施設の特徴を活かした連携が必要です。今後は齋場御嶽入口→市道1号線（齋場通り）→がんじゅう駅・地域物産館・歴史文化発信拠点施設（仮称）→知念岬公園をひとつのテーマパークと位置づけ、景観整備もふくめた大規模なプロジェクトを企画して欲しい。 現状はすべての計画が各々で景観もバラバラである。観光地として点での整備になり、非常にもったいな</p>	<p>左記の意見内容については、個人的な意見も含みますが、地域住民・地域事業者・県内外からの来場者からも多くのコメントをいただいています。歴史文化発信拠点施設の建設には反対ではありませんが、周辺施設の大改修工事を含めた、テーマパークとしての大規模プロジェクト構想計画を希望します。</p>	<p>駐車場の不足については、発信拠点整備に係る課題として認識しております。そのため発信拠点の敷地内に駐車場を整備する方向で検討していきます。そのほか、駐車場不足の課題解決に向けた案をさらに関係部署等と協議・検討していきます。 候補となっている齋場御嶽周辺エリアにある各施設と連携した取り組みや、エリア一帯の景観等も含めた整備については、今後も関係部署等と協議・検討していきます</p>

	い。		
6	<p>南城市歴史文化発信拠点は、斎場御嶽周辺に建設予定とのこと。</p> <p>展示内容や情報については、斎場御嶽来館者がメインになることから、斎場御嶽のことが主となると思われるが、琉球開闢の地、アマミキヨから琉球王国に至る時代背景も併せ広くゆかりのある南城市を紹介していただきたい。</p> <p>世界遺産＝斎場御嶽と知って訪れる観光客は多いが、斎場御嶽が南城市にあるということを知らない観光客も多い。斎場御嶽がある南城市の魅力を知ってもらえる場所、リーダーになってもらえる場所として力を入れてほしい。</p> <p>今は、通過地点、若しくは短時間滞在（空港に行く前にちょっと…とか空港から滞在先の北部リゾート地へ行く前にちょっと…）としての南城市訪問が多いように見受けられるが、南城市内で長期滞在、周遊観光してもらえるようなエリアになり、そのことを情報発信してもらいたい。</p> <p>また、斎場御嶽に来る観光客が関心を示すのが、神の島久高島である。南城市として、観光のメインに挙げるのは斎場御嶽だけでは不十分で、「斎場御嶽と久高島」を軸として、琉球王国との関係性を南城市歴史文化発信拠点でアピールして、久高島への誘客にも繋げてほしい。</p> <p>そのためには、少数ではあるが、斎場御嶽と安座真港を結ぶ足につい</p>	<p>とは言え、斎場御嶽も久高島も、またその他の琉球開闢の地にまつわる場所（ヤハラヅカサや浜川御嶽、受水走水、等）はあくまでも厳かな祈りの場所であって、観光地ではない。観光地ではないが、その素晴らしさは訪れる人に知ってもらいたい。そのために、南城市歴史文化発信拠点が南城市の貴重な歴史文化を正しく発信していく責任があると思う。</p> <p>地域ガイドや専門家の知識も頼ってほしい。</p> <p>完全な観光地として情報発信するのであれば、その方が簡単ではあると思うが、南城市はありきたりの観光地になってはいけない。</p> <p>他にはない歴史と誇れる文化が残っているので、それを学んでもらって滞在してもらえるように努力してもらいたい。</p>	<p>ご意見のとおり、発信拠点では斎場御嶽だけでなく南城市の全体的な歴史文化と、各地域に残る歴史文化を紹介することで、南城市の魅力を発信していく予定です。「斎場御嶽と久高島」といった個別テーマも企画展示などに活用していくことを検討していきます。</p> <p>発信拠点の整備に関連する交通や斎場御嶽関連施設の整備についても、関係団体等と協議・検討していきます。</p>

て考えていただきたい。南城市に限らず沖縄を訪れる観光客はレンタカー利用者が圧倒的多数を占めるが、現状を見ていると、心から「斎場御嶽や久高島に行きたい！」と思って訪れる人はバス利用者が多いように思う。

斎場御嶽に来たものの、安座真港までの交通手段がない、久高島に行つて来て斎場御嶽にも行ってみたいが交通手段がない…でスマホ見ながら困っている人を何名も安座真港やがんじゅう駅に送った経験がある。せつかく N バスが久高海運の船の時間に合わせて運行しているので、N バス利用促進も必要なのは。

現状で言えば、せつかくの世界遺産斎場御嶽なのだが、全くプレミアム感がない。緑の館まで続く参道は、統一感が全くない上、斎場御嶽の名前を使って根拠のない商売をしているように見受けられる所もある。また、緑の館に着いて中に入れば、錆びたようなパイプ椅子に座り、古びた部屋の中で案内ビデオを見る。時にはその外を団体客が通過したり、添乗員やガイド、はたまた公認ガイドの声が騒がしく耳に入ることもある。その周辺に貼ってある資料は色が褪せたり、セロテープが朽ちたりもしている。世界遺産には「認定書」があるはずだが、その掲示もない。これでは、せつかくの世界遺産が威厳の無いものになってしまう。

<p>山の中に入り、神秘的な自然に圧倒され感動される部分も多々あるので、何とか齋場御嶽のすばらしさが保たれているが、その他の部分は残念なところが多い。</p> <p>久高島に関してもほぼ同様に、玄関口の安座真港では久高島について学べるものがほとんどなく、雑然とした待合所で神の島久高島への期待感、高揚感に欠ける。</p> <p>齋場御嶽、久高島をはじめとして、南城市には短時間滞在では回り切れない程の魅力的な場所が点在している。それらを巡ってもらい長期滞在してもらうためには、宿泊施設の充実も必要で、一棟貸のゲストハウスだけでなく、安価で当日でも予約できる宿が出来てほしい。宿泊施設の情報提供も重要になってくると思う。</p>		
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--